

広報

あしや

1993年 4月15日号
(平成5年)

No.633

毎月1日・15日発行

発行 芦屋市役所(広報課)
☎0797-31-2121
〒659 兵庫県芦屋市精進町7番6号

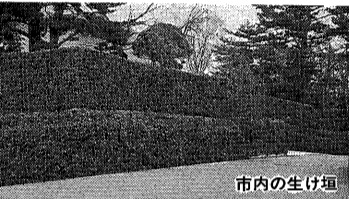


5/1・5/2は芦屋グリーンフェアへ

市と緑化協会では、「花と緑にあふれるまち・芦屋」をテーマに「植木まつり―芦屋グリーンフェア」を今年も開催します。お誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

日時 五月一日(土)・二日(日)
午前10時～午後5時
(小雨決行、大雨順延)
場所 高浜町十番の空き地
(駐車場あり)

内容 ①庭園樹・草木・苗木・観葉植物・肥料などの展示即売



市内の生け垣

④生け垣は高さ一メートル以上(外から見える部分は〇・五メートル以上)の常緑樹を、延長一メートル以内に三本以上植えること。ネット

生け垣助成額をアップします

生け垣助成制度とは、家庭の生け垣を造る際に、工事の費用の一部を市が助成する制度です。これは、緑化基金の利子を活用して運用するもので、四月一日から右下表のとおり助成額がアップしました。

助成の対象となるためには、次の条件を満たす必要があります。

①個人の居住用住宅敷地であること
②市民または完成後に市民となる人
③道路(水路)に面した場所で延長三メートル以上であること

⑤ツタ等のツル性植物をブロック塀にはわせる場合は、将来壁面全面を覆う状態になるようにすること

市組織一部改正

市では、市民の皆さまのニーズに
よりの確にお応えできる体制づくり
と公務効率の向上を目指して、四月
一日付で一部の組織を改正しました。
また併せて、課長級以上三十九人
を含む二百一人の人事異動を行いま
した。その概要をお知らせします。

①市民相談窓口の一本化
市民の皆さまからの各種相談、陳情
要望等を取り扱う窓口を「生活文化
課」に統一しました。

②福祉関係の充実
総合福祉センター、第二特別養護老
人ホームの建設など保健福祉施設の

③建設・都市計画関係の充実
整備のために、また芦屋ハートフル
福祉公社の充実のために、新たに担
当(課長級)を配置しました。

④人権推進のための組織
人権意識の高揚を図るために、人権
推進課を新設しました。また従来の
同和対策部を人権推進部に改称し、
広く人権啓発を行う総合窓口をおき
ました。

種別	算定基礎	交付額	交付限度額
生け垣等の設置工事 樹木植栽	植栽延長1メートルにつき 20,000円以内	算定基礎から算出した額の2分の1以内	200,000円
生け垣等の設置工事 ツル性植物	植栽延長1メートルにつき 10,000円以内	算定基礎から算出した額の2分の1以内	100,000円
既存塀等の撤去工事 (生き垣設置工事に伴うもの)	塀の延長1メートルにつき 8,000円以内 *植栽延長を 超えないこと	算定基礎から算出した額の2分の1以内	80,000円

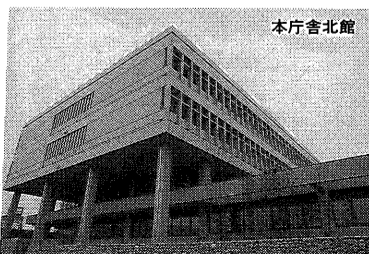
(助成額は1,000円未満は切り捨て)

ひよひよ花と緑のコンクール受賞者決定

第十回ひよひよ花と緑のコンクールの受賞者が決定しました。本市からは二十五件の応募があり、十七件が入賞しました。

西蔵町の清瀬幸子さん(勸兵庫県フラワーセンター協会理事長賞佳作)は、ベランダ緑化(サファイニア・写真上)に力を入れて受賞されま

した。ほかには多木万壽雄さん(松浜町)、西村也寸子さん(潮見町)、岩田英子さん(東芦屋町)、広井真知子さん(東山町)が受賞され、市内の学校園(本紙三月十五日号に記載)および緑化協会も受賞しました。



6月からすべての土曜日市役所は休みになります

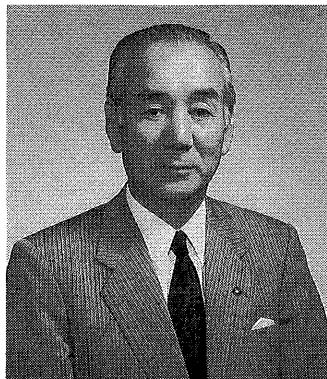
市では一部の施設を除き、6月から毎週土曜日は業務を休ませていただきます。市民の皆さまのご協力をお願いします。

なお、土曜閉庁の実施にあたっては、皆さまの生活に大きな支障のないよう、右表の施設等は従来どおり業務を行います。

問い合わせは企画課事務管理担当(☎38-2005)へ。

文化 体育 施設	社会 福祉 施設
市民会館 公民館 体育館・青少年センター 図書館 谷崎潤一郎記念館 美術博物館 上宮川文化センター (隣保館・児童センター) 各地区集会所	保育所 福祉会館 老人福祉会館 養護老人ホーム和風園
	病 院
	市立芦屋病院(外来部門は休み)
	そ の 他
ごみの収集・処理	消防署 火葬場(第2、第4土曜日は休み) 下水処理場 浄水場
環境サービス課 環境施設課	

▶土曜日も従来と通りの業務を行う施設など



基礎学力向上 にむけて

芦屋市教育長 長谷川 節男

平成5年度 市教育委員会の主要施策 こころゆたかな人づくりを



基礎学力充実研究校 授業公開

春、4月。平成5年度の新学期がスタートしました。各学校園では、希望を胸にやる気いっぱいの新入生を迎え、清新の気に満ちた教育の営みが始まりました。

保護者や市民の皆さまから、強い期待を寄せられた「芦屋の教育」も、教職員や関係者の努力により、正常化の歩みを続け、かなりの点でその成果をみることができるようになりました。

これもひとえに皆さまの厳しいご鞭撻や温かいご支援のおかげと感謝いたしております。

さて、今、日本の教育は新学習指導要領の全面実施、学校週5日制の導入、高等学校教育の改革、生涯学習社会の構築等、大きな節目の時を迎えています。

私は、就任以来、一貫して「基礎学力の向上」を最重点課題として、その実現に努めております。平成4年度を「基礎学力向上元年」と位置付け、市指定の授業研究や先生の資質向上にむけて、取り組んでまいりました。

変化の激しい社会にあっても、基礎学力の定着は学校教育の不易の課題であります。

基礎学力とは、教科書にもらわれている内容をしっかりと習得させることであるととらえております。そのためには、教科書の知識を暗記するだけでなく、子どもの興味・関心・意欲を引き出し、指導内容を十分理解させることが必要です。基礎学力は、一人ひとりの子どもにしっかりと身に付き、その後の学習や生活に生きて働くものとなってこそ、意味があるものと考えます。

一方、21世紀に生きる子どもたちを、健全な社会人、国際人として育てることが強く望まれています。

そのためには、学校、家庭、地域社会で、それぞれの教育機能を発揮し、子どもたちの望ましい生活態度を養うことが必要です。

そこで、平成5年度を「マナー向上元年」として、心の教育の充実を図ろうと学校や保護者、社会教育関係のかたがたに呼びかけています。

マナー向上の一例を申しますと、時と場にふさわしい服装や、気持ちのよい挨拶や返事、言葉遣いができることでもあります。このような社会生活で共本となるマナーが身に付き、好感の持てる行動となってあらわれることが大切です。このことは学校だけでなく、家庭や地域の皆さまのご理解とご協力が是非とも必要です。

本年度は、「基礎学力向上」と「マナー向上」を両輪としつつ、学校教育、社会教育における施策を積極的に推進し、皆さまの期待に応え得る「芦屋の教育」のさらなる充実向上に励んでまいります。

教育の ページの

このページのお問い合わせは市教委学校教育課(☎332087)へ。

「学ぶ側の立場に立った教育の実現」を教育理念とした本年度の市教育委員会主要施策の概要をお知らせします。

基礎学力の一層の向上を図ります

子どもに基礎的・基本的な学力を身に付けさせ、自ら学ぶ力や態度を育成するため、充実した教材・教具の整備を行い、その積極的な活用を進めるとともに、昨年に引き続き「基礎学力充実研究校」を指定し、指導方法の工夫・改善を進めます。

教師の研修を充実します

教師としての使命を自覚し、専門性を高め、指導力を向上させるため、「国内先進校派遣研修・海外派遣研修」「新規採用教員研修」「女性教員研修」等を実施します。さらに、打出教育文化センターでは、各教科の研修講座や一般教養講座等を実施します。

のびのびパスポートを配布

市内に住む小学生に神戸市などの教育関連施設へ無料で入館できる「のびのびパスポート」を配布します。●利用できる日：日曜、祝日、第2土曜日、春休み、夏休み、冬休み●配布方法：問い合わせは、教育委員会社会教育文化課(☎332091)へ。

学校の施設整備を進めます

宮川小学校の校舎建て替えの準備工事に着手するほか、朝日ヶ丘小学校の体育館改修をはじめ、精道、山中学校のプール改修、市立芦屋高等学校の特別教室改修、宮川幼稚園ほか二園の園舎塗装工事等を行います。

市立芦屋高等学校の改革を推進します

十二月の学校教育審議会の「これからの市立芦屋高等学校のあり方について」の答申に基づき、今後のあり方について具体的に検討します。

学校給食に新しい食器を導入します

より楽しい給食のため、新しい食器を導入するとともに、ランチルームの整備も順次進めます。

生涯学習のまちづくりを推進します

市民の多様なニーズに応じるため、平成4年度に策定した「生涯学習推進基本構想」に基づき、次の施策をはじめ、さまざまな学習環境の整備に努めます。①心の豊かさを求めてボランティア活動をしたという希望に応えるため、市民が学ぶ生涯学習ボランティア通信教育の受講料を一部補助し、指導者の育成を図ります。②市民の文化活動を支援するため、芦屋市文化振興財団の組織・要員を充実して、多彩な事業が行えるように援助します。

第6回市民コンサート 月名歌でつづる世界の旅

5月15日(土)

ルナ・ホール

開場 18:30

開演 19:00

要入場整理券

出演	プログラム
永井和子(ソプラノ)	第I部 日本の歌
竹本節子(メソソプラノ)	●花
田原祥一郎(テノール)	●夏の思い出
小村亮三(バリトン)	●赤とんぼ
浅井康子(ピアノ)	●初恋
	●浜辺の歌 ほか
	第II部 世界の歌
	●歌のつばさ
	●赤いサラファン
	●金髪のジェニー
	●ローレライ
	●カテリー ほか

申し込み 往復はがきに住所・氏名・申し込み枚数(市民1人2枚以内)を記入のうえ4月22日(木)(当日消印有効)までに、市民センター文化事業係(芦屋市業平町8-24 ☎31-4995)へお申し込みください。なお、応募多数のときは抽選します。また、応募に余裕がある場合に限り、4月26日(月)から来館者にも入場整理券をお渡します。

発表 5月初旬に入場整理券を発送します。

7th Vanguard Jazz Concert

5月22日(土)

ルナ・ホール

開演 P.M.6:30

料金 ¥3,000(前)
¥3,500(当)

(前売券売り切れの場合は、当日券は販売しません。)

司会

大塚善章 十川尚子

出演

北野タダオとアロージャズオーケストラ

東郷輝久(ヴォーカル)

TWINKLE(コーラス) etc.

この「広報あしや」を公演当日ご持参の方は、当日券を前売券料金扱いとします。※前売券が売り切れの場合は、当日券を発行しませんので、上記取り扱いは中止となります。



問い合わせ 芦屋市文化振興財団 事業部 業平町8-24 ☎31-4962